

鯖江市立河和田小学校

(様式 4-2 : 平成 28 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称 : 手作り安全ボーイで、命を守ろう					
2. テーマ : 「ふるさと教育」「安全教育」「町づくり」「地域コミュニティ」をキーワードにして、安全で住みよい町づくりを考える					
3. 実施教科 : 総合的な学習 図工 書写 国語					
4. 関連単元 : 総合的な学習「私たちの町 河和田」 書写「気持ちを表す」 国語「未来への提言」					
5. 実施単元数 : 8 時間					
6. 学年	5・6年	7. クラス数	2クラス	8. 生徒数	65名
<p>9. 実施内容</p> <p>本校は、鯖江市の東部にあり、公共交通機関は、コミュニティバスのみである。地域住民の多くは、自家用車で通勤や移動をしており、子どもたちの通学路も車の往来が激しく危険な状況である。また、河和田地区は、高齢者が多い地区でもあるが、「河和田の子どもは地区の宝」と、地区ぐるみで、子どもたちの安全・安心への関心が高く、学校に対して協力的な地区である。</p> <p>そこで、5・6年生児童および児童会が中心となり、「自分たちの命は自分たちで守ろう」と、PTAや区長会長および各区長と協力して、以下の取組を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 通学路の危険状況調査 ② 安全ボーイの作成 ③ 安全ボーイのメッセージ作成 ④ 安全ボーイの設置依頼と設置設置後の実態調査と地区民への提言カード作成・配布 ⑤ 次年度につなげる <p>この成果としては、次のようなことがあげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 河和田地区に手作りの安全ボーイが設置されることにより、運転手だけでなく、歩行者や町全体の人が「安全な河和田」にしようと思うきっかけとなるとともに、住みよいまち作りの一助となった。 ○ 活動を通して、児童は、地区の人たちと交流を深めることができ、河和田地区の良さを知るとともに、自分の命は自分で守ろうという意識を育む事ができた。 ○ 児童だけでなく地区が一体となり、地区内43箇所にオリジナル安全ボーイを設置することで、児童・保護者・地区民が、ふるさと河和田を愛し、河和田で育った自分たちに自信と誇りをもつようになった。 					

- 「河和田が明るくなった」「とてもかわいいので、近くの交差点にも設置したい」等の声が多く、次年度もさらに設置していきたいという児童・PTA・新区長の意欲向上につながっている。

10. 学習のながれ

1. 通学路の危険状況調査（総合的な学習）

親子で自分の地区を歩いて、危険状況の調査を実施。その結果をもとに、危険箇所マップ作成や足型書きをするとともに、区長会・PTA・学校が協働で、市役所や警察署に改善要請を行った。



<親子で点検>



<足型書き>



<改善要請>



2. 安全ボーイの作成（総合的な学習・図工）

児童のアイデアをもとに、PTA役員が中心となり地域の木工所で、安全ボーイの型の切り抜き作業を行った。その際、河和田地区は、眼鏡と漆器の産地であるため、眼鏡枠とお椀の型紙も切り抜き、眼鏡をかけてお椀をもったオリジナル安全ボーイとした。これは、ものづくりの町河和田をPRするとともに、河和田のシンボルにしたいという地区の思いを表現したものである。PTA主催で、地区民や大学生も参加し、この安全ボーイに親子で色付けを行った。



＜ 安全ボーイ作成 ＞

3. 安全ボーイのメッセージ作成

書写の時間に、5・6年児童が、安全ボーイのメッセージを考え、作成した。

- ① 「飛び出し注意」「命を大切に」などの言葉を考え、小筆で練習
- ② 白い板にペンキで清書
- ③ 表面にニス塗る。



メッセージ貼り付けや腐食防止剤の塗布や土台つけの作業は、PTA総務委員が中心となり、教職員やPTAに声かけして行った。少しずつ完成の姿が見えてくるに伴い、児童はどこに設置するのか考えるようになった。

完成まで



4. 安全ボーイの設置依頼と設置

安全ボーイ設定場所について児童は、自分の地区内での危険個所を再度確認して、決定していった。また、大人の目線での設置も必要ということで、全保護者に確認依頼をした。保護者からは、運転者の視点で設置場所を提案していただいた。

PTAと児童代表で決定した43か所について、PTA役員と学校職員は、区長会長に協力を求めた。了解した区長会長は、安全ボーイ設置に向けて、各区長に協力依頼をしてい

ただけた。

その後、PTAと児童会代表委員が区内をまわり、安全ボーイ設置依頼を行った。了解を得た家庭から順にPTAと区長が中心となり安全ボーイを設置した。



5. 設置後の実態調査と地区民への提言カード作成・配布

設置後、児童・保護者・区長にアンケートをとり、地区の反響や交通状況の変化を確認した。その結果、次のような意見が出された。

<区長>

- ・ 子供たちと、PTAの真剣で元気な姿をみて、一肌脱ごうと思いました。設置してみるとかわいいです。まだまだ危険な個所があります。区長としては、白線の引き直しや街灯設置など、さらに市に陳情することも必要だと感じています。
- ・ 学校の真剣な姿に驚きましたが、区として協力してよかったです。おかげで、横断歩道も二か所設置することができました。子供たちの登下校も安全になりました。地区と学校が協力して行政に働きかけることで、大きな成果を得ることができたのがとてもよかったです。学校もご苦労様でした。
- ・ 「とまれ」の標識設置一つでも、何度も現地に行ったり警察と話し合ったり地主と交渉したりと大変でしたが、新しい標識が設置されると苦労が報われます。子供たちが作った安全ボーイが毎日笑顔で見つめてくれるのも、なんとも微笑ましいです。年寄りも喜んでます。

<保護者>

- ・ 河和田のいたるところに、安全ボーイがあるのはとてもいいことです。なんだか明るい街になったような気がします。お椀とめがねは河和田のシンボルで、他からお客さんもびっくりしていらっしやいました。元気が出ました。ありがとうございます。
- ・ 子供たちが危険な横断をしないようになりました。また、安全ボーイに「ただいま」と言っているわが子、がかわいく思えてなりません。
- ・ まだまだ危険な場所がいっぱいあります。このような活動を継続して、河和田を安全できれいな町にしていきたいと思います。この一年間で、危険なところはないか、線が消えているところはないかと意識するようになりました。
- ・ 車の運転をしていて、安全ボーイのあるところは、減速するようになりました。「これ、6年生といっしょに作ったんやで。ちゃんと止まって!」と言う我が子に教えられています。

<1～5年児童>

- ・ みんなで安全ボーイの色を塗ったときはとても楽しかった。そのあと、だんだん形ができてきたので、すごいなあと思った。
- ・ お父さんたちと。安全ボーイをつけに行きました。近所のおじさんが、「かわいいのができたな。道を歩きたくなるわ」と言ってくれたのでうれしかったです。
- ・ 安全ボーイが河和田のいろいろな所にあるので、止まって、左右の確認をしてわたるようになりました。
- ・ 安全ボーイの顔を見ると、元気が出ます。がんばれと言われているような気がしてうれしいです。
- ・ 自分が書いた安全ボーイをさがして、じまんしました。おばあちゃんがほめてくれました。
- ・ 地区の人たちが、協力してくれたのでとてもうれしかった。河和田の人たちは優しいなと思った。
- ・ 安全ボーイの顔を見ると、元気が出てくる。自分を励ましてくれるような気がする。

これらの声を元に、六年生児童は、設置協力していただいた各家庭や区長、PTA 役員に手紙を書き、来年度の設置協力依頼も行った。

【略】 僕たちかわだっ子が作った安全ボーイをこれからもよろしくお願ひします。【略】地域の皆さん、僕たちかわだっ子の願ひをかなえるために、何度も集まってくださり、ありがとうございます。多くの人の力で作ったので、事故が減ると思います。【略】観光客にも喜んでほしいです。【略】



6. 次年度につなげる

6年児童は、本活動を通して、次のような反省を行い、次年度にも引きついでいくようにPTAと学校に要請した。

PTAは、次年度も活動の柱として取り組むように3月に行われた総務委員会で可決した。

<取り組みの成果>

- ・自分たちでつくった安全ボーイが設置されたおかげで、「もっと安全確認しよう」「この場所は危ないから気をつけよう」と思えるようになった。これからもこの安全ボーイを大切に、大人になったときも残していきたい。
- ・私たちがつくった安全ボーイのおかげで、交通事故が今年是一件もありませんでした。しかし、まだまだ危険なところがあります。もっと危ないところにいっぱい設置して、河和田の町を交事故ゼロの町にしていきたいです。
- ・私自身がこの取り組みをして、自転車運転の時に、立ち乗りや飛び出しをしないようになりました。また、スピードを出さなくなりました。これからもこの安全ボーイを見るたびに事故防止に気をつけていきたいと思います。自分が作ったものが町にあるととてもうれしくなります。河和田の漆器とめがねのパーツがあり、カラフルで素敵です。デザインや色を下級生と一緒に考えたのが一番の思い出です。河和田の町が明るくなった気がします。
- ・安全ボーイのように、楽しくて地域の人と一緒にできる活動企画はとても楽しかったです。後輩たちもこの楽しさを味わってほしいです。
- ・お椀とめがねをもった安全ボーイは、地域活性化につながっていると思います。観光客やお客さんがカラフルな安全ボーイを見て、元気な河和田を見てほしいと思います。
- ・登下校中に、カラフルな安全ボーイが目立っていて、車で通る人や歩いている人にも気をつけてもらえたことがとてもうれしい。特に「命は一つ!」という大きな文字のメッセージを見てドキッとしました。私も、もう少しインパクトのあるメッセージを力強い字で書けばよかったと反省しました。
- ・中学生になると自転車通学です。ヘルメットをしっかりとかぶり、安全ボーイに励まされながら登下校しようと思います。

<課題と次年度以降への願い>

- ・まだまだ危ない場所がたくさんあるので、安全ボーイを増やして、もっともっと元気で明るく安全な河和田にしてほしい。
- ・雪や雨で、はげてきたものや、壊れかけているものがあります。再度集めて、ねじの締め直しやニス塗りもするといいです。中学生になって協力依頼があれば参加したいです。
- ・安全ボーイが倒れていたら、自分手立て直したことが何度もありました。近くのおじさんたちに「ありがとう」と言われ、うれしくなりました。しかし、倒れないようにしないと、危険ボーイになるのではと思います。ぜひ、倒れないように設置し直してほしいです。
- ・このカラフルな安全ボーイは、河和田小学校の伝統にしてください。是非、カラフルなままで残して欲しい。